

「家庭学習MGC」実践例

鹿屋市
教育委員会

鹿屋小学校6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 教師から出された宿題をただ済ませるのではなく、「なぜ家庭学習をするのか」といった家庭学習の目的や意義を子供と共有することで、子供が主体的に家庭学習に取り組むことができるようとする。
- ★ 授業終末時で「振り返り」で自覚した「問い合わせ」を解決したり、追究したりすることができるよう、家庭学習で「何を」「どのような方法で」取り組むのかを子供自ら計画することで、探究的な学習として取り組むことができる。
- ★ 単元テストの目標点に向けて、復習する必要があると考える内容、苦手意識のある内容、自信がない内容を子供自身が把握して、その内容を自分にとって定着が図れることができると考える方法で家庭学習に取り組むことによって、「学び方」を学ぶことができる。
- ★ 家庭学習で児童が自分の考えを事前に考えてくる予習型学習を行うことで、授業で友達の考えと比較・関連付けて考える練り上げの時間を確保することができ、多様な「見方」を獲得する深い学びにつなげることができます。

週報に載せた保護者へのお知らせ

鹿屋小学校では、自分で計画を立て、実行し、振り返って反省をよりよい活動につなげていくサイクルを回す「自己調整する学び」に取り組んでいます。そこで、週末に自分で計画を立て家庭学習を行う「6年2組マイゴールチャレンジ」を始めています。今まで「なんとなく、やらされている」宿題から、「自分の目的をしっかりとやって行う」宿題に意識を変えていこうという取組です。子供たちは自分で週末の予定を立て、計画に沿って取り組んだり修正したりしながら頑張って取り組んでいます。内容も「テストに向けた宅習」や「できなかった問題にもう一回挑戦する」など、何のために宿題をするのかを考えながらする宿題に変わってきました。これを続けていくことで自己調整する力が身に付いていくと思います。頑張って続けてほしいです。

○ MGCの取組

【小学6年生 家庭学習のMGC】

自己調整する力を高めるために、見通し・実行・振り返りのサイクルを回しながら取り組んだ家庭学習

★ポイント

- 毎週金曜日の朝の活動の10分間を用いて、今週末の宿題の計画を立てたり、何の目的のために自主学習を行うのか考えたりする。
- 家庭学習後に自分の立てた計画や学び方はどうだったか振り返りを行い、今後の学習に生かせるようにする。
- 「やらされる」宿題から、「○○のために宿題をする」という意識が高まってきた。
- 自分の目的に合わせた自主学習ノートになってきた。

鹿屋小6-2 家庭学習マイゴールチャレンジ①

① 今週末の宿題

毎日記 漢字 宅習・英語 ロプリント(2枚)
口らくらくノート()ページ 口音読【英語のやり立ち】
口その他()

見通し (計画)

② 今週末の予定(用事・習い事・少年団など)と宿題の予定

曜日	予定	宿題の予定(いつ、どの宿題をどれくらいするか)
金	金管	
土	プリント(1枚)	
日	金管	

③ 宅習の目的と内容 《宅習に書く教科…算数》

宅習の目的(なんのために宅習をするか)	宅習の内容(何を書くか)
□テストが近いからテスト勉強のために。	□ノートや教科書の「はかせ」や「まとめ」、「ポイント」などを読んで書く。
□分からないところができるようになるために。	□教科書などの練習問題に取り組む。
□「はかせ」や「まとめ」、「ポイント」など大切だと思ったところを覚えるため。	□教科書などの発展問題に取り組む。
□学習したことなどを覚えておさせるために。	□次の時間に学習するところをまとめたり問題を解いていたりする。
□学習したことなどを書いておさせるため。	□授業や生活の中で疑問に思ったことを聞いて、調べてまとめる。
□学習したこと他の問題にいかしたい。	□学んだことをいかして実践し、それをまとめる。
□授業や生活の中で疑問に思ったことを解決したい。	□その他(プリントやよい)

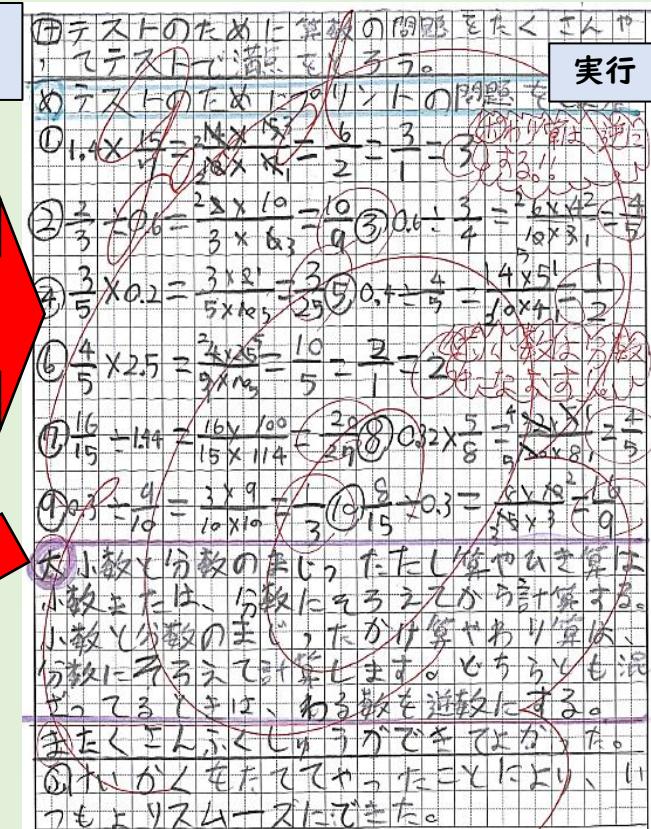
④ 計画に沿って、宿題や宅習をしよう。

⑤ 計画の振り返り

・自分の立てた計画の達成度 … ◎・◎・△・×
・うまくいったところ、もう少しだったところ、ここをこうしたら次はよくなる
今回1回、土曜日に終らうごとがでた。
それに、テスト勉強をしたから、またテストを振り返してみよう
うがんはりたい。

振り返り

自分の取組の振り返りや、うまくいったことなどを書く。



「家庭学習MGC」実践例

垂水市
教育委員会

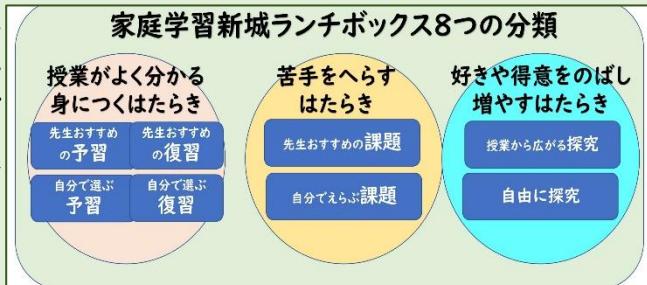
新城小学校 3・4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 小学校6年間の最終ゴールとして、自分で家庭学習の内容を選択・決定して取り組めるよう、教師は伴走者として子供に寄り添いながら、家庭学習の取組を支援する。
- ★ 1・2年生は、教師が提示した漢字、計算、プリント等の課題に確実に取り組めるよう家庭と連携し、家庭学習の習慣化を図る(家庭学習の手引を配布・活用)。
- ★ 3年生以上は、本市で取り組んでいる予習型反転学習と関連付け、授業の内容や学習計画を基に、家庭学習の内容や量を自己選択・自己決定して取り組む。また、教師はタブレット端末を活用して、家庭学習の取組状況を把握し、子供の主体的な学びにつながる助言を行う。

令和6年度から、3年生以上で「家庭学習新城ランチボックス」システムを取り入れている。家庭学習のはたらきを「授業がよく分かる身につくはたらき」「苦手を減らすはたらき」「好きや得意を伸ばし増やすはたらき」の三つに分類している。

それぞれの働きに係る課題の例等について、年度当初に子供や保護者と共に理解を図る。教師は、子供の学びに寄り添いながら、子供が主体的に家庭学習に取り組めるよう支援している。



○ MGCの取組

【小学3・4年生 学級活動のMGC】

主体的な家庭学習とするために、内容や量を自己選択・自己決定して作成した計画表を基に取り組む家庭学習

★ポイント

- 1年間のスタートにあたり、家庭学習の内容や量を自己選択・自己決定して取り組めるよう、授業参観で、保護者に子供が家庭学習の計画を立てる様子を参観していただいた。
- この授業の導入で、教師は、各教科等の学習計画表を配布した。その際、子供に「自分の苦手を減らすはたらきの学習に取り組む必要がある教科はどれですか。そして、その理由も教えてください。」と問い合わせて、子供がどのような目標で家庭学習に取り組みたいか考え、意欲を高めた。
- 授業の展開で、タブレット端末を活用し、1週間分の家庭学習計画表を作成した。教師は、子供の計画表を参照し、一人一人に家庭学習の内容や量について助言した。
- 授業の終末で、各自が作成した家庭学習計画表を発表し、今後の家庭学習への意欲付けを図った。



家庭学習のはたらきについて教師の説明を聞く子供

マイゴール チャレンジの例

- AIドリルを活用して、家庭学習の内容と量を決め、計画的に自分の得意を伸ばすよう取り組む。
- 社会科の授業で取り組んだ調べ学習のパンフレットをよりよいものにするため、オンラインアプリを活用し、家庭でも継続して取り組む。
- 明日の授業で取り組む算数の問題を家庭で事前に解き、授業の話合い活動に自分から進んで取り組む。
- 漢字テストで間違えた苦手な漢字については、毎日時間を決めて繰り返し練習するなど苦手なことにも取り組む。

「家庭学習MGC」実践例

曾於市
教育委員会

光神小学校 3・4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

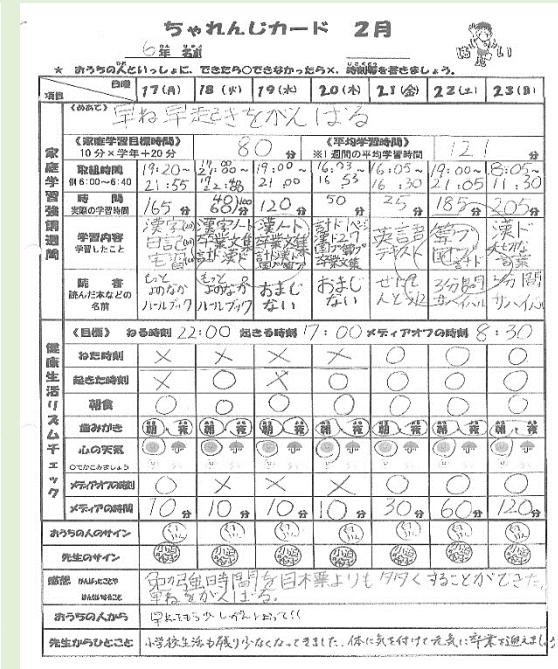
- 1 学習スペースの整理整頓
- 2 集中できる環境での学習
- 3 決められた時間での自宅学習
- 4 家庭学習の見届け・励まし・声かけ
- 5 メディアの家庭のルールを守る。

家庭への配付資料（家庭学習・生活リズム）



- 【家庭学習を充実させるための流れ】
- PTA総会・家庭教育学級での家庭学習の効果や必要性、方法についての説明
 - 学級PTAで、担任による進捗状況の確認
 - 学級活動において子供たちが主体的に取り組む力を育成するための指導
 - 子供の日々の取組への称賛

ちゃれんじ週間の取組



○ MGCの取組

【小学3・4年生 国語・算数のMGC】 自走する力を持つために、計画を立てて取り組む家庭学習

★ポイント1【NIE教育を取り入れた家庭学習】

本校は、学習者主体の学びの一つとしてNIE教育に取り組んでいる。子供たちは、新聞を読み、自分で興味のある記事や与えられたテーマに合った記事を探し、考えや感想を書くようになってきた。家庭学習でも週末に取り組む機会を増やしていく。

☆子供の変容

NIE教育を教育活動から家庭学習にも反映させたことで、新聞に興味を示す子供が増えた。また、着目する視点が子供によって違うため、自分の考えと友達の考えを比較しながら思考する姿も見えてきた。

★ポイント2【宅習（自学ノート）の活用】

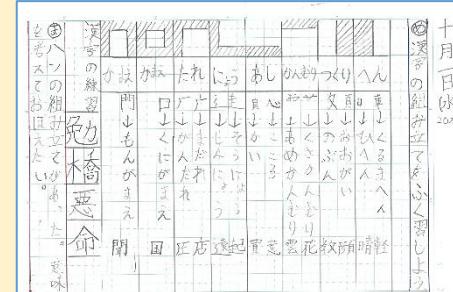
自学ノートの活用を図り、一日の学びを振り返りながら自分の課題や分からなさがどこにあるのかを自覚できるようにした。自学ノートは、3年生から始められるように学校で書き方や内容を指導し、子供ができるようになった時点で家庭学習に取り入れるようにした。段階を踏まえて指導し、系統的に充実した内容につなげていくようにする。

☆子供の変容

本校は少人数のため、子供一人一人の苦手な教科や内容を宅習の個別テーマにすることもある。子供たちも少しずつ、ノートの書き方や学習内容が分かる宅習の活用の仕方も理解してきた。与えられたプリント学習だけではなく、自分が選択できる学習は、試行錯誤しながら考え、自分の学びのための学習となっている。

※ 3年A児

漢字の部首に苦手意識があったため、教科書やドリルを参考に学習を進めた。

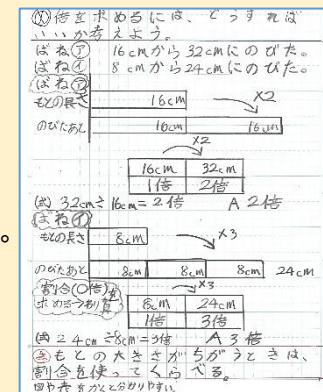
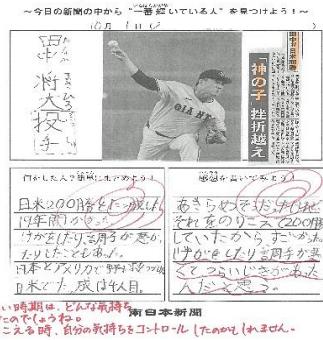


※ 4年B児

特に指示を出さずに宅習に取り組ませたが算数の割合内容に課題があることを自覚しており、その内容を自学ノートにまとめた。

図や表を使い、考えを整理できるようになっている。

今日のヒーロー



「家庭学習MGC」実践例

志布志市
教育委員会

潤ヶ野小学校 5・6年



○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 自分に合った家庭学習計画を立てましょう。

★ 学校から出された課題をもとに、家庭学習の計画を立てましょう。

★ タブレットを使用する時は、「持ち帰りルール」を守って、「安全・安心・快適」に使用しましょう。

★ 補充学習に、学習支援アプリや学習者用デジタルコンテンツを活用しましょう。

★ 計画を立てて、取り組んだことは、家族や先生に見てもらいましょう。



○ MGCの取組

【小学5年生 社会のMGC】

米作りをする人々の思いについて理解を深めるために、米を作る家族へのインタビューに取り組んだ家庭学習

★家庭学習の過程

- (1) 学校から出された課題に取り組む（音読、日記、プリント等）
- (2) マイゴールチャレンジに取り組む
 - ① あらかじめ考えていたインタビュー内容について、家族にインタビューを行う。
 - ② インタビューを行った後、さらに聴いてみたいことを質問する。
 - ③ 学習支援アプリを活用し、米作りについての知識を深める。
- (3) 学習した内容を、家族に知らせる。
- (4) 関連する本や教科書、資料を読んだり、インターネットで調べたりする。

★学校の関わり

- (1) 授業で学んだ米作りについて、疑問に思っていること、米を作っている方にさらに聞いてみたいことを考えさせる。
- (2) 学習支援アプリの該当チャプターを紹介し、必要に応じて、補充問題や動画解説を視聴するように指導する。

★保護者（祖父母を含む）の関わり

- (1) 児童からインタビューを受ける。
- (2) 見届けをする。（讃める、励ます、自信をもたせる）

★実践の様子（児童と保護者のやりとり）

児童：何時ぐらいに田んぼに行っていますか。

保護者：5時か5時半。田植えから稲刈りまでの期間は毎日行っている。

児童：米を作るのを嫌だと思ったことはありませんか。

保護者：田んぼがある家に産まれた運命だと思って頑張っている。自分の親もそうやって米作ってくれた。

★成果

- 普段以上に、家庭学習に主体的に向かう姿が見られた。
- マイゴールチャレンジに取り組んだ内容は、授業での主体性も高まった。
- 保護者に関わってもらうことができ、自信がついた。

★課題

△ 保護者の関わりについて、加重負担にならないように程度を見極める必要がある。



「家庭学習MGC」実践例

東串良町
教育委員会

東串良中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 自主的・主体的に学ぶ姿勢を育てる。

→ 苦手教科や不得意分野など、自分でテーマや課題を決めて自主的・主体的に学習する。

★ 日々の学習の積み重ねを大切にすることで、学習習慣を身に付ける。

→ 毎日の継続的な取組が、学力の定着につながる。

★ 振り返りや自己評価を取り入れる。

→ その日の学習内容や理解度を自分で確認し、次につなげる。

★ 1年生90分、2年生120分、3年生150分の家庭学習を奨励。

→ 時間は目安（中学校で理解を深めるために必要な時間）であり、学習の内容や質にこだわる。

学習者主体の授業（数学科）と関連した家庭学習（自学ノート）

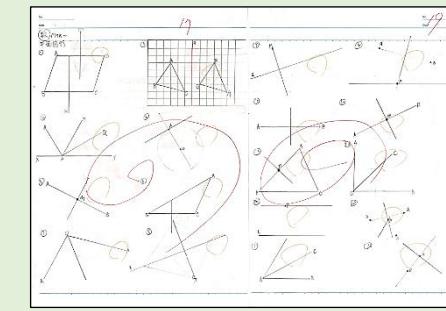
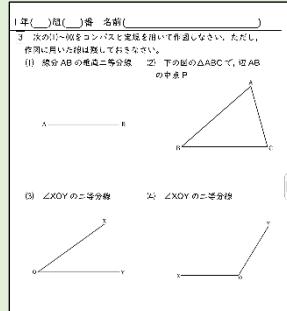
題材：平面図形

内容：角の二等分線、垂線、線分の垂直二等分線の作図

めあて：基本的な作図の方法を理解し、活用できるようになる。

★ 家庭学習用プリントを作成・配布し、基本的な作図

方法の定着を図った。



○ MGCの取組

【中学1年 数学科のMGC】

基本的な計算力を高めるために、自学ノートに取り組んだ家庭学習

★ ポイント

本校では全学年で自学ノートに取り組んでいる。1年生でも中学校生活に慣れてきた5月からスタートし、1週間に5ページ取り組むこととしている。特に教科の指定は行わず、自分の苦手な教科や単元、当日習った学習内容などを積極的に進めている。

チェックは担任だけでなく、学年部の職員6名で担当を決めて確認をしている。毎週金曜日には、学年主任がチェックし、うまく進められていない生徒への支援を行っている。

その中で、生徒が「何に取り組んでいいか分からない」という生徒の声から、数学科では、学習支援アプリを活用して、計算問題を配信している。

1学期は合計で大問1～44まで準備した。

計算力を伸ばそう！継続は力なり

計算トレーニング
1 小学校の四則計算

計算トレーニング
2 正負の数の加減

計算トレーニング
3 正負の数の乗除

計算トレーニング
4 いろいろな計算

計算トレーニング
5 超難問

小学校で習った計算問題もあり、苦手な生徒にも取り組みやすくした。

「超難問」と題して、難関私立高校の入試問題などを提示し、学習意欲を高める工夫をした。

解答
1 小学校の四則計算

解答
2 正負の数の加減

解答
3 正負の数の乗除

解答
4 いろいろな計算

解答
5 超難問

生徒は、MGCの活動により、計算問題に積極的に取り組む姿が見られるようになった。学校に登校したらすぐにタブレットを起動させ、計算問題に取り組み、自学ノートを決められたページ以上に進める生徒が増加した。

5月に行った計算問題中心の単元テストでは、平均点が90点を超えるなど、確実に計算力を高めている。

「家庭学習MGC」実践例

錦江町
教育委員会

大根占小学校 6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

家庭学習のねらい ⇒ 「基礎学力の定着」と「自ら学ぶ習慣づくり」

家庭へのお願い ⇒ 「意欲」と「集中力」を高める環境づくり

★ 学習への意欲をもたせるために

- ・学習を始める時間になったらテレビのスイッチを切る。
- ・すぐに取りかかれる易しい学習から始める。
- ・できることからはじめ、途中でつまずいたり分からなかったりしたら、問題は次の日学校で質問できるようにする。

★ 学習に集中させるには

- ・おやつは学習が終わってからにする（ながら学習はさせない）。
- ・机の周りには、学習に必要でない物を置かない。
- ・時計を利用する。「正しく」「早く」「丁寧に」をめあてにする。
- ・「始まり」の時刻を守らせる。

年度初めに子供に説明する手引 (R7年4月)

錦江町立大根占小学校

家庭学習の手引き（高学年）



【学習時間のめやす】

☆ 5年生・・・70分 6年生・・・80分
※ 中学校では、最低2時間の家庭での学習時間が必要になります。徐々に時間を増やしていきましょう。

【ポイント】

1. 学習しやすい掛け声をつくりましょう。
○ テレビを見ないでしない。
○ 学習用具の整理整頓に心がける。
※ 朝寝時間の目安(時 分)

2. 規則正しい生活をしましょう。
○ 睡眠、早起きをする。
○ 前日に時間割や学習用具をそろえる。
○ テレビを見る時間を決める。

3. 学習のはじめと終わりのじごくを話し合ってきましょう。
※ 同じ時間帯に学習する習慣をつけましょう。
※ 休日は午前中すばらしが望ましいです。
おわり 時 分

【メニュー】

- ☆ こつこつコース（先生から出された宿題にとりくみます。）
- ① 日記
・毎日の出来事を日記に書くことで、表現力ができます。
- ② 音読
・国語で学習している単元の音読に取り組みます。読み取る力や総合的な力がつきります。
- ③ 音読カードを活用しましょう。
- ④ 漢字
・漢字ドリルを使って、ノートに漢字練習をします。
- ⑤ 計算
・計算ドリルを使って、ノートに計算練習をします。
- ⑥ 各教科のプリントに取り組みます。
- ⑦ ドリル・プリント
- ☆ チャレンジコース（時間によゆうがあったとき、自分で進んでとりくみます。）
- ① がんばりコース
・自分でもっている問題集に取り組みましょう。
- ② 復習・予習
・学習した内容で、大事なことを自分なりにノートにまとめたり、明日習う教科書のページを読んだり、書いてあることを自分なりに考えたりします。
- ③ 調査
・学習したことの中から、疑問に思っていることやもっと調べてみたいことについて調べ、ノートにまとめます。
- ④ 読書
・読書は「心の栄養」となります。土曜日や日曜日など休みの日には集中的に読書をしましょう。

家庭では励ましと称賛を

☆ 子どものがんばりを認め、励ますことが
子どものやる気につながります。
ぜひ、見届けをしてください。

「よくがんばったわ！」
「一生懸命勉強できたね。」
「今日は字が丁寧だね。」など

○ MGCの取組

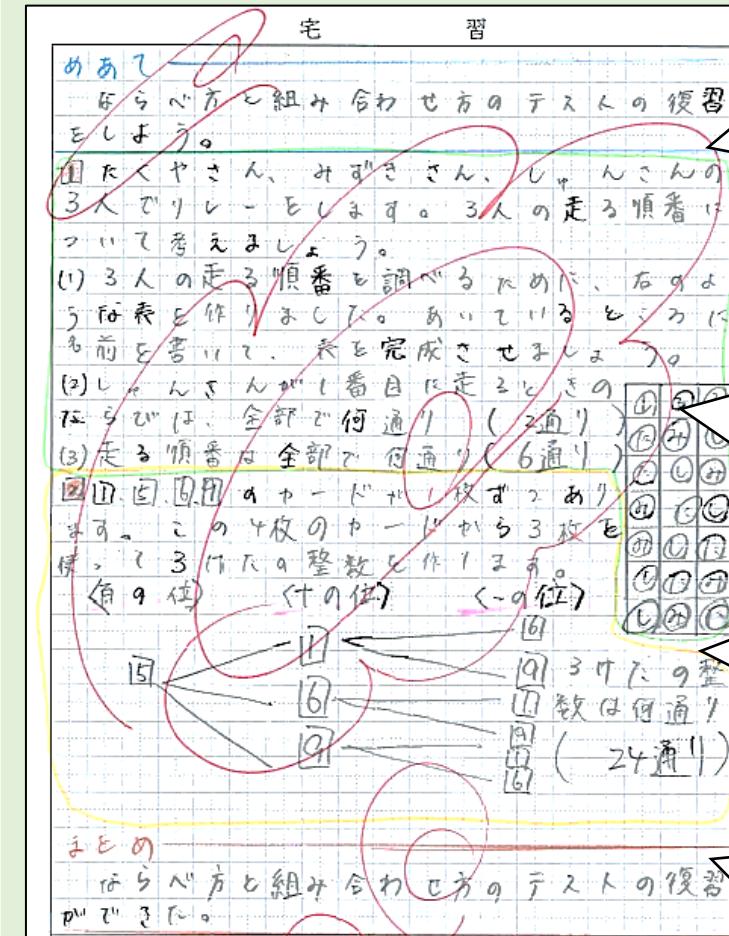
【小学6年 算数科のMGC】

確実な理解にとるために、「めあて」を立てて取り組んだ家庭学習

★ ポイント

その日の学習における「めあて」(MG)を設定し目的意識をもって家庭学習に取り組んでいる。

○ 単元テストで間違えた問題を家庭学習で復習し、確実に理解しようとしている児童の例



○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 各学年の平均的な学習時間の設定

【1年30分 2年40分 3年50分
4年60分 5年70分 6年90分】

★ 学校で、音読カードを作成する。学習後に保護者の見届け及びサインをもらい、毎日提出する。

★ 今日、学習したことの復習を基本的に行う。

家庭学習の手引き（高年学年用）

南大隅町立神山小学校

学習時間のめやす（どのくらい学習するか）

☆ 5年・・・70分 6年・・・80分

学習の開始・終了の時刻

☆ 毎日、同じ時間帯に学習する習慣を身につけることが大事です。

※ 平日は大致的に、休みの日は午前中に済ませましょう。学習の始めと終わりの時間について、親子で話し合いましょう。

学習の開始		学習の終り	
平日	時 分	時 分	時 分
休みの日	時 分	時 分	時 分

※ 静かな場所で集中して 学習しましょう。

※ テレビを見ながら、音楽を聴きながらの勉強はやめましょう。

学習のメニュー

★先生が出された題目

○日 算…自分の出来事毎日記入…くことで、表現力の向上をねらいます。授業で学んだ漢字を覚えるのに役立ちます。

○音 読…音楽で英語を学習している音の発音に取り組みましょう。毎日取り組むと、読むの力もあがります。頑張る意欲が芽生えてきます。

○漢 字…字ドリルで覚える…ノートで漢字練習をしましょう。

書字練習…めねは、ねはに力をこめて、ついでに書きましょう。

○計 算…計算ドリルで覚える…ノートで算数練習をしましょう。

○プリント…先生から出された各教科のプリントに取り組みます。分からなかった問題は、次回の先生や親に聞く時間で、自分の力でできるようになります。

★こんな風でやってみよう

☆ 先生からの題意がないときや、時間にゆとりがあったとき、自分なりに各教科の学習に取り組みましょう。

【国語】 読…一日の中心で好きな本をじっくり読む時間を設けてみましょう。

意味調べ…教科書の中の「意味を書き下す」を読み書きしてみましょう。

【社会】 教科書の大切な切抜きを覚えよう…分ららない切抜きは読みましょう。

その日に読みたてた内容を読み取る…読み取った内容を書きまとめてみましょう。

学習ノート…読み込んだ本などをどうやって読み取ったかを記す…

【算数】 算…これまでに学んだ問題を、計算問題を覚習してみましょう。

ドリルや問題集などの問題を、たくさん解いてみましょう。

【理科】 したくことを書き記す…取り組み方などに記しておきましょう。

実験や観察に取り組んでみましょう。

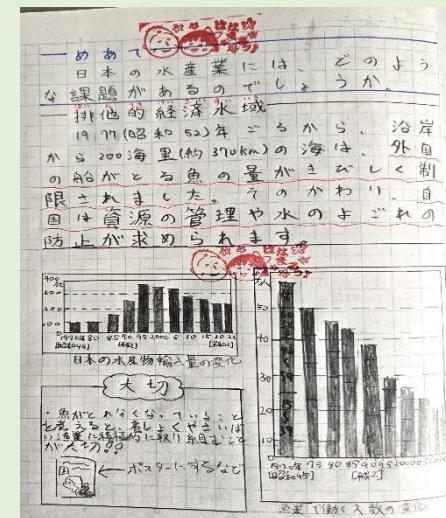
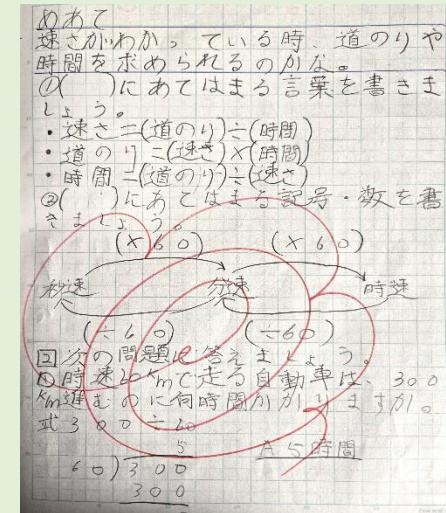
※保護者の方へ… 高年でも、読む・聞く力は大切です。親子読書にも取り組んでみてください。

保護者の方へ… 子どもの興味を引き、助ますことが子どものやる気につながります。見直し、見直してください。

○ MGCの取組

【小学5年生のMGC】

今日学習した内容を思い出し、定着を図るために、アクティブリコール（思い出す活動）学習に取り組む家庭学習



- 宿題(学校から指示された課題)をやり遂げたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。
 - 授業で分からなかった問題を解いて、今日学習した事を思い出す活動をする。
 - 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自主学習ノート」にまとめる。
 - 家庭学習に余裕があれば、次の授業で学習する内容を予習してみる。
 - 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。
 - ・ 国語の時間に学習した、教科書教材とテーマが同じ本を読んでみる。
 - ・ 体育の時間に学習した運動を取り入れた体力づくりを家庭で実践してみる。
 - 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、探究してみる。

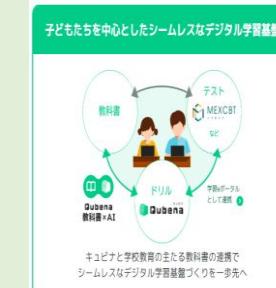
「家庭学習MGC」実践例

肝付町
教育委員会

岸良学園 後期課程

○ 家庭学習の基本的な考え方

- セルフマネジメントとして週単位等で家庭学習の計画を立てる。（主体的思考）
【学習者主体の授業との関連：子供が自ら問い合わせを発見する】
- AIドリルを中心とした家庭学習に取り組む。（ICTの活用）
【学習者主体の授業との関連：子供が解決の方法を見通す】
- 新たな問い合わせを探究し、進路や生き方につなげる振り返りを行う。（自己実現）
【学習者主体の授業との関連：子供が自らの学びを振り返り、次に生かす。】



2 AIドリルの活用

- 学習eポータル+AI型教材は、児童・生徒一人一人の習熟度に合わせて最適な問題を出題するアダプティブラーニング教材である。
- 授業の学びを個別最適に理解・定着でき、授業の進度に応じた予習復習に活用できる。
- 授業・家庭学習において一貫した学習が可能になる。

○ MGCの取組

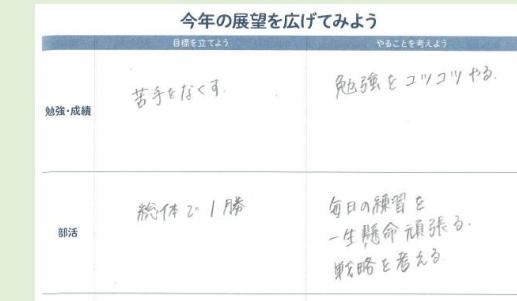
【岸良学園後期課程9年生のMGC】

「自分で学ぶ力」を身に付けるために、スケジュール帳とAIドリルを活用した家庭学習

- 「自己成長を促す教育用手帳（スケジュール帳）」を活用する中で、自ら学習や部活動等の目標を設定したり、年・月・週単位の計画を立てたりしながら主体的に考え行動する。

自分の気持ちや行動をコントロールさせることで、自己調整能力の向上をねらいとする。

目標設定



スケジューリング



- 「AIドリル」を活用した「マイゴールチャレンジ」

- 今日の授業で学習したことを復習し、自分の学習や取組を振り返りながら、AIドリルの設定（内容設定や時間設定等）をすることができる。
- 学習内容の定着が自分で即座に分かるため、学習内容等をもう一度整理したり、練習問題や発展問題に自らの意志で取り組んだりすることができる。
- 学習が終わったら、その日の取組の内容や方法を即座に振り返ったり、家族や先生、友達と共有・相談したりして、翌日の授業や家庭学習につなげる。

